

# ⑱ 本山寺と血洗の滝を訪ねるみち



## 主な見どころ

### ● 本山寺

本山寺は、美作地方の寺院のうち最古のもので、大宝元年（701年）、頼観（らいかん）上人が新山寺を建立したのが始まりで、約50年後に鑑真和上が「本山寺」に改めたといわれる寺院である。県下最大の三重塔は、本堂と並び、南北朝初期の優れた堂建築の代表的なものとされ、国指定重要文化財である。



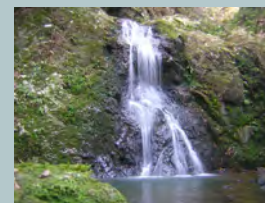
### ● 吉井高原

吉備高原の東部に位置するこの高原は、標高約400メートル、備前と美作の国境に位置し、本山寺の前身の新山寺の屋敷跡があって、昔から古本山と呼ばれて来たところである。



### ● 血洗の滝

落差は10数メートルであるが、この落下する水は清冷で枯れたことがないといわれている。須佐之男命尊が出雲で大蛇を退治したあと、剣の血をこの滝で洗ったという伝説からこの滝の名前がつけられたと伝えられている。



### ● 宗形神社

延喜式神名帳にも記載されている備前国の古社の一つで、宗形の三女神を祭っており、浦上宗景が永禄年間に再建したことが棟札に書かれている。付近には堅穴式住居の遺跡や須臾器等の埋蔵物が多く出土している。（県指定郷土記念物）



## コース案内

JR誕生寺駅	3.8km	76分	天津神社	6.0km	120分	本山寺	1.7km	34分	吉井高原	1.4km	28分	血洗の滝	2.5km	50分	宗形神社	5.7km	114分	吉ヶ原(藤原橋)
--------	-------	-----	------	-------	------	-----	-------	-----	------	-------	-----	------	-------	-----	------	-------	------	----------

■1日コース延長21.1km  
■時間7時間2分